

令 3 年度ふるさと創生 N P O 活動応援事業報告書

団体名	特定非営利活動法人 碧い海の会	
<p>1. 事業内容について、進捗状況報告書をまとめるような形で記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1 独居や高齢者世帯に対する食事の提供、健康講座、交流事業、2 生活困窮者に対する食事の提供、交流、相談、3 留学生、外国人居住者への地域交流の場の提供や相談支援、4 放課後等児童サービスや地域の子どもへの食事提供や交流会、学習支援として、以下の事業を行った。 <p>1 地域住民との交流会、2 自治委員との交流会、3 APU・留学生との交流会、4 薬草観察会、5 薬草茶教室、6 地域づくり教室、7 野菜ソムリエ教室、8 薬草料理教室、9 ハーブティ教室、10 サツマイモ収穫祭、11 ピザ体験教室、12 親子ピザ教室、13 ウコン菊芋収穫祭、14 サツマイモモンブラン教室、15 カボチャパウンドケーキ教室、16 黒糖饅頭教室、17 干し芋教室、18 オオバコケーキ教室、19 ウコンケーキ教室、20 菊芋料理、21 ヨモギ料理、22 ホウレンソウカレー、23 からあげ丼、24 ゴボウ料理教室など 38 の事業を実施した。</p>		
<p>2. 事業を実施している様子等が分かる写真を 4 枚以上添付してください。</p> <p>報告書活動様子</p> <p>7/11 地域交流会</p>  <p>8/5 留学生交流会</p> 		

8/21 薬草観察会



9/4 地域づくり教室



10/2 野菜ソムリエ教室



11/6 サツマイモ収穫祭



11/13・14 親子ピザ教室



11/23 ウコン収穫祭



12/4 紫イモのモンブランづくり



3. 来年度以降、事業終了後も、その効果や結果が継続されるために、組織としてどの様に、体制や対応をしていくのかについて記載してください。

事業終了後、常勤職員を1名配置し、非常勤の食品衛生責任者5名による運営体制をとり共生食堂の利用者を増やす。

食材の確保

サロンの周囲に1.6ヘクタールの畑を借り上げているので、野菜等の栽培で食材の確保を目指す。また、竹中等で地域の人が作った野菜を集めサロンで販売したり、買い上げたりすることで食材の確保と収益向上を目指す。

収益性の確保

自前の畑で栽培した薬草等は食材に利用するとともに、加工品を作り販売することで収益向上につなげる。